

FM/AMカセット カーステレオ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XR-C1300



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・ 運転者は走行中に操作をしない。
- ・ 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

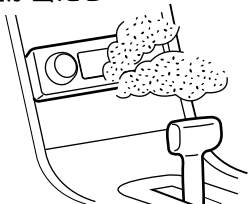
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



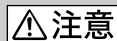
- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意	4
---------------	---

▶ 準備

まず、本機をリセットする	6
時計を合わせる	7
放送局を自動で登録する	8
各部のなまえ	9
SHIFTボタンについて	9

▶ ここだけ読んでも使えます

テープを聞く	10
テープのいろいろな 聞きかた	12
ラジオを聞く	13

▶ ラジオ

特定の放送局を登録する	15
-------------------	----

▶ その他の操作

ロータリーコマンダー（別売り）の操作 ...	16
音質や音のバランスを調節する	19
音や表示の設定を変える	20
重低音を強調する	21

別売りの機器を接続すると

▶ CD/MD

CD/MDを聞く	22
聞きたい曲・ディスクを探す	23
繰り返し聞く	23
曲順を変えて聞く	24

付録

使用上のご注意	25
故障かな？	27
保証書とアフターサービス	30
主な仕様	31
索引	裏表紙

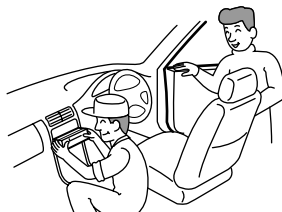


下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

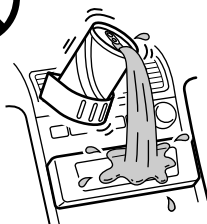


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

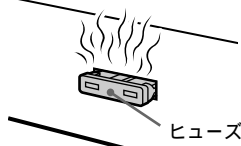


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



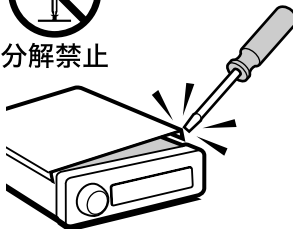
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止





下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車**に**損害**を与えたりすることがあります。

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



はじめに

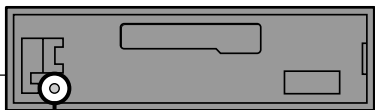
本機では、カセットテープとラジオを聞くことができます。また、運転感覚で操作できるロータリーコマンダー（別売り）に対応しています。

以下に記載した別売りの機器を接続した場合も本機のボタンで操作できます。

- CD機器
- MD（ミニディスク）機器

この取扱説明書では本機の使いかたの他に、別売りの機器を接続した場合の操作方法についても説明しています（16～18ページ、22～24ページ）。

まず、本機をリセットする



リセットボタン

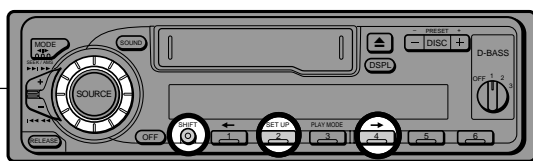
初めて使うときや自動車のバッテリーを交換したときは、フロントパネルを外してリセットボタンをつま楊子の先などで押す。

フロントパネルの取り外しについては25ページをご覧ください。

ご注意

リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。

時計を合わせる



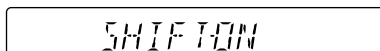
SET UP (セッティングアップ)

1 車のイグニッションキーをONにする。

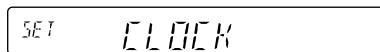


2 SHIFTボタンを押して「SET UP」モードにする。

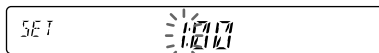
SHIFTボタンを押すと、「SHIFT-ON」の表示がでます。



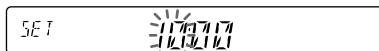
3 数字ボタン2 (SET UP) を押す。



① 数字ボタン4 (→) を押す。



② ダイヤルで「時」を合わせる。(時計は12時間表示)



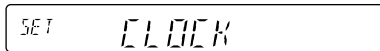
③ 数字ボタン4 (→) を押す。



④ ダイヤルで「分」を合わせる。

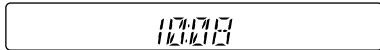


4 SHIFTボタンを押す。

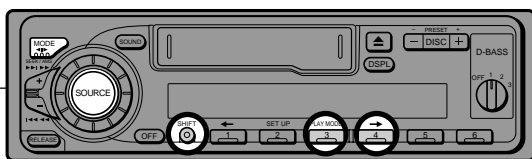


時計がスタートします。

5 最後に、SHIFTボタンを押す。



放送局を自動で登録する



受信できる放送局を数字の1～6ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ6局ずつ登録できます。テレビ放送(1～3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

→ FM1 → FM2 → AM1 → AM2 →



3 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」にする。

SHIFTボタンを押すと、「SHIFT-ON」の表示がでます。

SHIFT-ON



4 数字ボタン3(PLAY MODE)を繰り返し押して、「B.T.M」を表示する。



5 数字ボタン4(→)を押す。

「B.T.M」(ベストチューニングメモリー)と点滅表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。



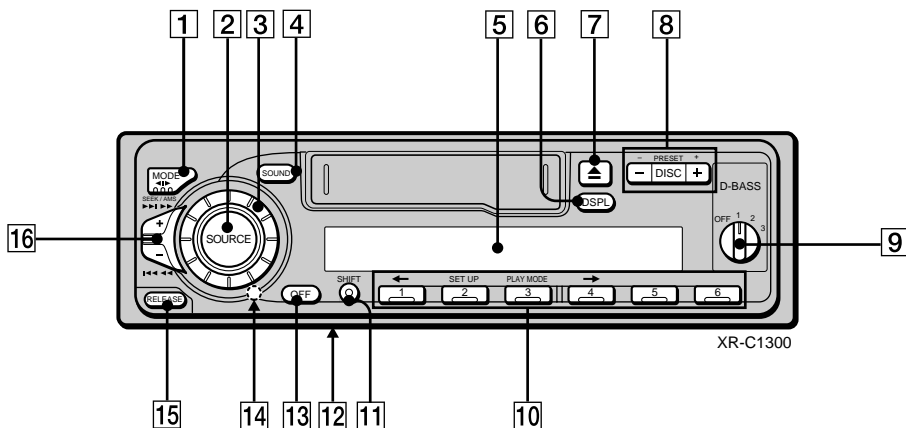
6 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

各部のなまえ

内のページにくわしい説明があります。



① モード MODE◀▶ (FM/AMバンド、テープ再生面、CD/MD機器切り換え) ボタン

⑧ ⑩ ⑬ ⑮ ⑲

② ソース SOURCE (チューナー/TAPE/CD/MD 切り換え) ボタン ⑧ ⑩ ⑬ ⑮ ⑲

③ ボリューム / バス / トレブル/バランス/フェーダー VOL/BAS/TRE/BAL/FAD (音量調節) ダイヤル ⑦ ⑩ ⑮

④ サウンド SOUND (音質調整) ボタン ⑮

⑤ 表示窓

ディスプレイ

⑥ DSPL (表示切り換え) ボタン ⑪ ⑭ ⑲

⑦ イジェクト ▲ (テ - プ取り出し) ボタン ⑪

プリセット/ディスク

⑧ PRESET/DISC (ラジオ選局 / ディスクの頭出し) ボタン

ラジオ ⑮

CD/MD ⑲

ダイナミックベース

⑨ D-BASS (重低音調節) つまみ ⑲

⑩ 数字ボタン1～6

ラジオ ⑮ ⑲

⑪ シフト SHIFT ボタン

PLAY MODE ⑧ ⑫ ⑭ ⑲ ⑳

SET UP ⑦ ⑳

⑫ パワーセレクトスイッチ (底面)

くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

⑬ オフ OFF (電源切り) ボタン ⑪ ⑲

⑭ リセットボタン ⑥

⑮ リリース RELEASE (フロントパネル取り外し) ボタン ⑲

⑯ シーク/エーエムエス SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局) つまみ ⑪ ⑭ ⑮ ⑲

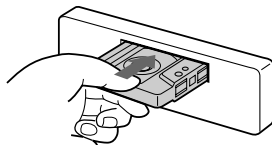
SHIFTボタンについて

SHIFTボタンを押すと、1～6のボタンは、上に表示されている機能に変わります。

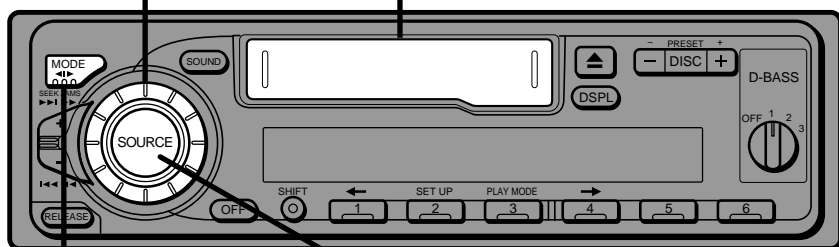
各設定等を行った後はSHIFTボタンを押して元に戻します。

テープを聞く

テープを入れると再生が始まります



音量を調節する



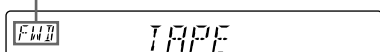
テープの面を切り換える

モード
(MODE ◀▶ ボタン)

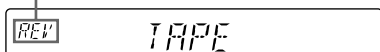


再生中に押すと、テープの再生面が切り換わります。

上面を再生



下面を再生



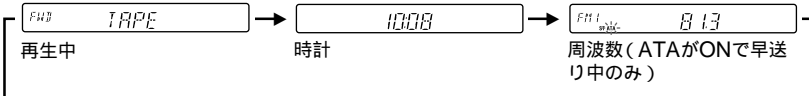
テープが入っているときに押して「TAPE」を選ぶと再生が始まる

ソース
(SOURCE ボタン)



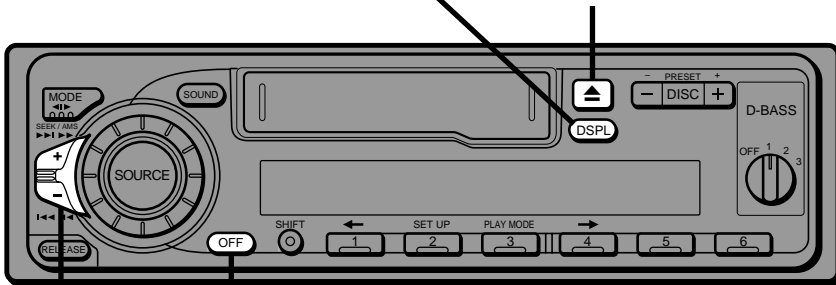
表示窓の見かた (DSPLボタン)

DSPL 再生中に押して表示を切り換えます。



DSPLボタンを押した後、一定の時間が経過すると「再生経過時間」、「ディスクの名前」、「時計」の各表示を順番に表示します (モーションディスプレイ)。
モーションディスプレイの設定を解除するには20ページをご覧ください。

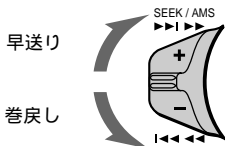
テープを取り出す (イジェクトボタン)



止める / 電源を切る (OFFボタン)

巻き戻し・早送りをする

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSつまみ)

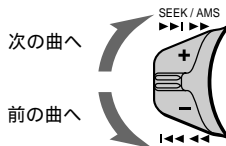


上下に押し続けると巻き戻し・早送りします。

途中で再生を始めるには、
モード **MODE** ◀▶ ボタンを押します。

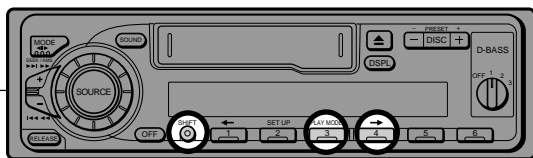
曲の頭出しをする

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSつまみ)



とばしたい曲の数だけ上下に
押します。

テープのいろいろな聞きかた



PLAY MODE(プレイモード)

- ・「REP」 → 今の曲を繰り返し再生する。
- ・「NR」 → ドルビーB NRのテープを再生する。
- ・「METAL」 → メタルテープを再生する。
- ・「BLSKP」 → 8秒以上の空白を早送りする。
- ・「ATA」 → 早巻き中はラジオに切り換わる。



1 SHIFTボタンを押して「SHIFT-ON」表示にする。

SHIFTボタンを押すと、数字ボタンの上に表示されている機能に変わります。(「SET UP」, 「PLAY MODE」など)



2 数字ボタン3(PLAY MODE)を繰り返し押して、設定したい項目にする。

REP → NR → METAL → BLSKP → ATA



3 数字ボタン4(→)を押して「ON」表示にする。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「OFF」表示にします。

* ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、及びダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

ラジオを聞く

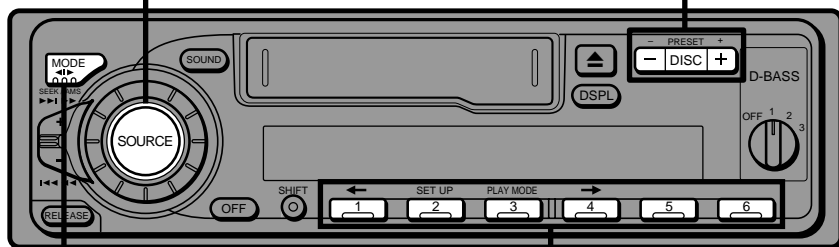
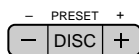
ここだけ読んでも
使えます

1 ラジオに切り換える



登録した放送局を順に
受信する

プリセット/ディスク
(PRESET/DISCボタン)



2 聞きたいバンドに切り換える



押すたびに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。

3 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局を登録してあるとき)



登録のしかたについては、8、15ページをご覧ください。

ご注意

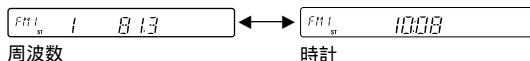
SHIFTボタンが押されていて、バンドと「SFT」を交互に表示しているときは、数字ボタンで選択はできません。この場合は、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

次のページへつづく

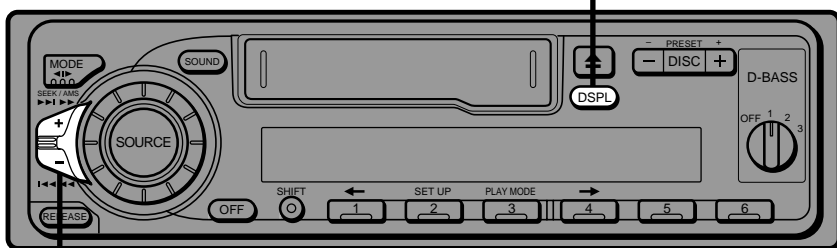
ラジオを聞く(つづき)

表示窓の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

DSPL 受信中に押して表示を切り換えます。



DSPLボタンを押した後、一定の時間が経過すると「時計」または「周波数」の各表示を順番に表示します(モーションディスプレイ)。モーションディスプレイの設定を解除するには20ページをご覧ください。



旅先などで、登録した放送局が受からないとき(自動選局を使う)



SEEK/AMSつまみを上下に押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受かるまで、つまみを上下に押します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSつまみを上下に押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。

- 1 SHIFTボタンを押して「SHIFT-ON」を表示する。
- 2 数字ボタン3(PLAY MODE)を繰り返し押して、「LOCAL-OFF」表示にする。
- 3 数字ボタン4(→)を押して「LOCAL-ON」表示にする。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。
ローカル受信時は選局中に「L.SEEK」と表示します。
ふつうの受信に戻すには、手順3で「LOCAL-OFF」を選びます。

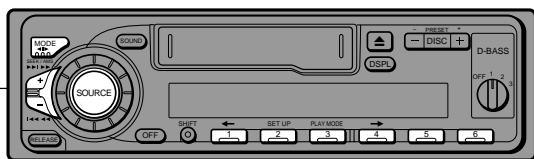
ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 SHIFTボタンを押して「SHIFT-ON」を表示する。
- 2 数字ボタン3(PLAY MODE)を繰り返し押して、「MONO-OFF」を表示する。
- 3 数字ボタン4(→)を押して「MONO-ON」を表示する。
- 4 SHIFTボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには、手順3で「MONO-OFF」を選びます。

特定の放送局を登録する



放送局を自動で登録(8ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておくくと便利です。



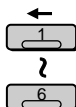
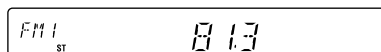
1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

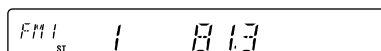


3 SEEK/AMSつまみを上下に押して登録する放送局を受信する。



4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。

押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。



ご注意

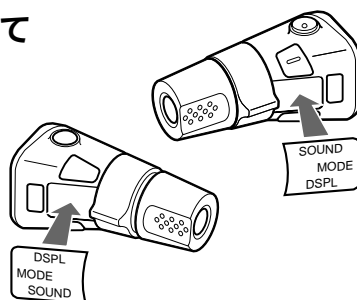
すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

ロータリーコマンダー(別売り)の操作

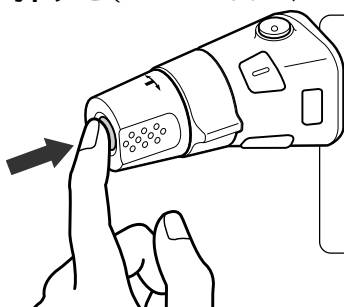
ロータリーコマンダーのシールについて

本機には、別売りのロータリーコマンダー(RM-X4S)を接続することができます。

ロータリーコマンダーには、ボタン名称のシールが数枚付属されています。本機には図のシールを、ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて貼ってください。



押すと(ソース^{ソース}ボタン、モード^{モード}ボタン)

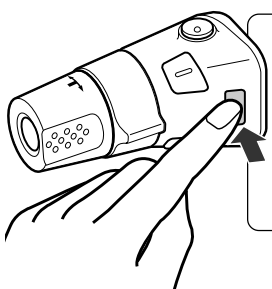


SOURCEボタンを押すと

ソースがTUNER CD* MD* TAPEと切り換わる

ロータリーコマンダーのSOURCEボタンを押すと本体の電源が入ります。

* 別売りの機器を接続している場合に表示します。



MODEボタンを押すと

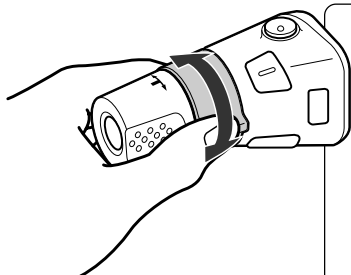
TUNERの時: FM AM ...

CDの時: CD1 CD2 ...

MDの時: MD1 MD2 ...

TAPEの時: 再生面を切り換えます。

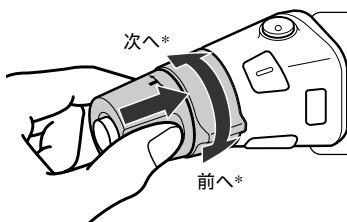
回すと (SEEK/AMSつまみ) シーク/エーエムエス



SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

- ラジオ... 自動的に放送局を受信する
回し続けると特定の周波数に合わせられる
- CD/MD... 曲の頭出しをする
回し続けると早く送られ、離すと再生に戻る
- TAPE... 曲の頭出しをする
回し続けると早く送られる
途中で再生に戻るにはMODEボタンを押す

押しながら回すと (PRESET/DISCつまみ) プリセット/ディスク



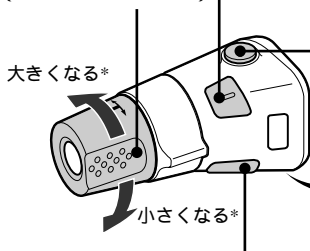
- ラジオ... 登録した放送局を順に受信する
- CD/MD... チェンジャー内のディスクを切り換える
- TAPE... 早送り/早戻しをする

* 操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

音量調節・音質選択する (SOUNDボタンを押す) サウンド

音量を調節する 本体のSOUNDボタンと同じ働きをします。

ボリューム
(VOLつまみを回す)



音量を瞬時に下げる
アッテネート
(ATTボタンを押す)

解除するにはもう一度押すか、
本体のダイヤルを回します。

オフ
電源を切る (OFFボタンを押す)

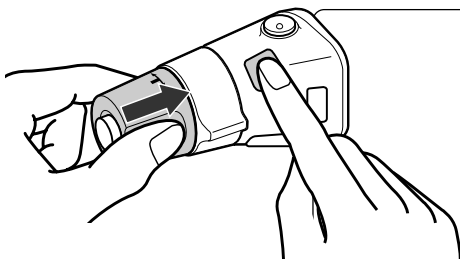
時計を表示する ディスプレイ
(DSPLボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。

次のページへつづく

ロータリーコマンダー(別売り)の操作(つづき)

つまみの操作方向を切り換える

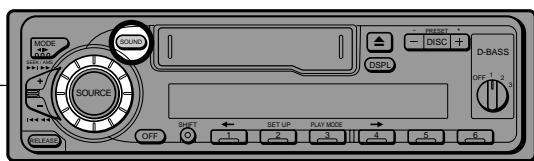


運転席の左右どちら側に取り付けるかで、
つまみの操作方向を逆に設定できます。

**VOLつまみを押しながらSOUND
ボタンを2秒以上押す**

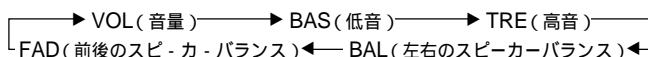
操作方向の切り換えは、本体でもできます(20
ページ)。

音質や音のバランスを調節する



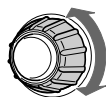
BAS (低音) TRE (高音) はソースごとに調節できます。

- SOUND** **1** SOUNDボタンを押して調節したい項目に切り換える。



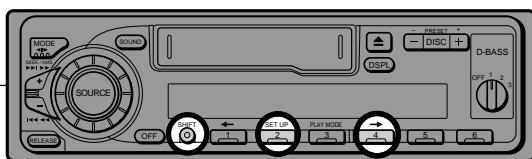
- 2** ダイヤルを回して調節する。

3秒以内にダイヤルを回してください。3秒を過ぎると音量調節 (VOL) に戻ります。



BAS	TRE	BAL	FAD
弱まる	弱まる	左へ移動	後ろ方向へ移動
強まる	強まる	右へ移動	前方向へ移動

音や表示の設定を変える



SET UP (セットアップ)

次の設定ができます。

- ・「CLOCK」 → 時計を合わせる(7ページ)。
- ・「BEEP」 → 操作ボタンを押したときの「ビッ」という音を入・切する。
(内蔵アンプを使用した場合のみ)
- ・「RM」 → ローターリコマンダー(別売り)のつまみの操作方向を切り換える。
「NORM」 → 初期設定の回転方向。
「REV」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
- ・「M.DSPL」 → モーションディスプレイの設定をする。
「ON」 → モーションディスプレイ表示する。
「OFF」 → モーションディスプレイ表示しない。
- ・「A.SCRL」* → ディスクを入れかえたときや曲が変わったときに9文字以上の曲名やディスク名を自動的にスクロールする。



1 SHIFTボタンを押して「SHIFT-ON」表示にする。



2 数字ボタン2 (SET UP)を押して調節したい項目に切り換える。

CLOCK → BEEP → RM → M.DSPL → A.SCRL*

* MDチェンジャーを接続した場合またはCD TEXT対応のCDを使用した場合のみ。



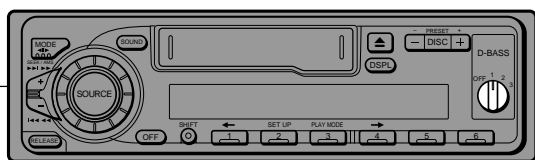
3 数字ボタン4(→)を押して好みの設定にする。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

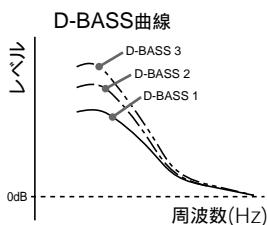
設定されて通常の表示に戻ります。

重低音を強調する

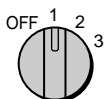


D-BASS

D-BASS機能(ダイナミックベース)は低音域をシャープに増幅するため、従来の低音強調機能よりも同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。



D-BASSつまみで低音を調節する



1～3に合わせます。

数字が大きいほど低音が強調されます。

通常に戻すときは、D-BASSつまみを「OFF」に合わせてください。

ご注意

音量によっては低音が歪むことがあります。このときはD-BASSつまみや音量を聞きやすいように調整してください。

別売りのCD機器やMD(ミニディスク)機器を接続して、CDやMDを再生できます。この章では、これら機器固有の機能について説明します。

CD/MDを聞く



1 SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」表示にする。



2 MODEボタンを押して聞きたい機器に切り換える。

CD機器の場合：

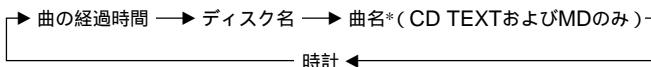


全てのディスクを順に再生します。

表示窓の見かた



再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。



* MDにディスク名や曲名が記録されていない場合は「NO NAME」を表示します。

DSPLボタンを押して一定時間が経過すると「再生経過時間」、「ディスクの名前」、「時計」の各表示を順番に表示します(モーションディスプレイ)。モーションディスプレイの設定を解除するには、20ページをご覧ください。

ご注意

- MDに記録されているディスク名、曲名はアルファベット、数字のみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみで入力されたMDを再生した場合は「NO NAME」と表示されます。

長いディスク名、曲名を再び見るにはSHIFTボタンを押してから数字ボタン1(←)を押します。

聞きたい曲・ディスクを探す

探しかた

押すつまみ / ボタン

曲の頭出しをする

再生中にSEEK/AMSつまみ



押した回数だけ前または先の曲の頭出しをします。

曲の聞きたいところを探す

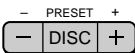
再生中にSEEK/AMSつまみ



つまみを押しつづけ、聞きたいところで離します。

ディスクを選ぶ

再生中にPRESET/DISCボタン



繰り返し押して聞きたいディスクにします。

繰り返し聞く

リピート

- 「REP-1」→再生中の曲を繰り返す。
- 「REP-2」→再生中のディスクを繰り返す。



1 再生中にSHIFTボタンを押す。次に数字ボタン3 (PLAY MODE) を繰り返し押して「REP」表示にする。



2 数字ボタン4(→)を押して聞きたい設定に切り換える。

→ REP-1 → REP-2 → REP-OFF

リピート演奏が始まります。

ふつうの再生にするには、手順2で「REP-OFF」を選びます。



3 最後にSHIFTボタンを押す。

曲順を変えて聞く

- 「SHUF-1」 → 再生中のディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。
- 「SHUF-2」 → 再生中のCD/MD機器内の全ディスクの曲を順不同に再生する。
- 「SHUF-ALL」 → CD/MD機器を2台以上接続しているとき、全機器の全ディスクの曲を順不同に再生する。



1 再生中にSHIFTボタンを押す。次に数字ボタン3 (PLAY MODE) を繰り返し押して「SHUF」表示にする。



2 数字ボタン4(→)を押して聞きたい設定に切り換える。

→ SHUF-1 → SHUF-2 → SHUF-ALL* → SHUF-OFF

* CD/MD機器を2台以上接続している場合のみ表示されます。

シャッフル演奏が始まります。

ふつうの再生にするには、手順2で「SHUF-OFF」を選びます。

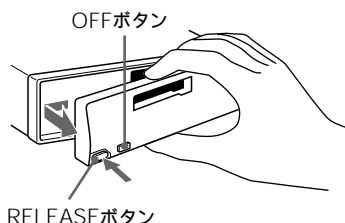


3 最後にSHIFTボタンを押す。

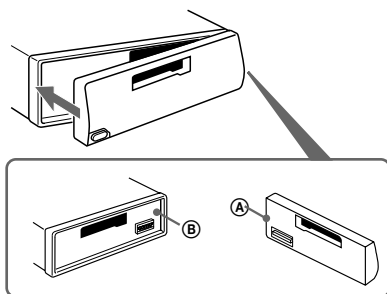
使用上のご注意

フロントパネルについて

取り外すときは、必ずOFFボタンを押して電源を切ってから、RELEASEボタンを押してください。フロントパネルを少し左にずらして、手前に引くと外れます。



取り付けるときは、フロントパネルの④と本体の③部分を合わせて、ロックされるまで押し込んでください。

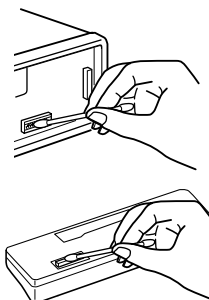


ご注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力を与えないでください。

コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



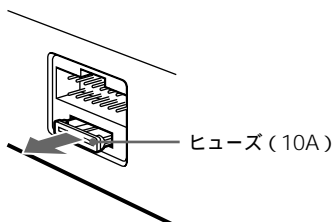
本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



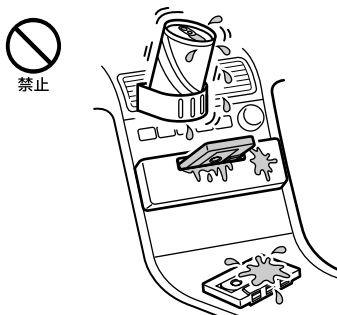
使用上の注意(つづき)

カセットデッキのヘッドのお手入れについて

カセットテープを長い間使用すると、ヘッドが汚れて、音質がよくない、音が出ないというようなことがあります。50時間を目安に、別売りのソニークリーニングカセット C-1KDまたは市販の乾式クリーニングカセットを使ってヘッドをクリーニングしてください。また、クリーニングカセットを使用しても症状が良くならない場合はお買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

良い音で聞くために

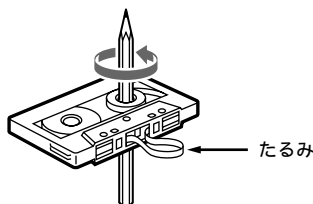
カップホルダーにジュースなどを置くときは、飛び散りにご注意ください。本機やカセットのテープ面に糖分が付着すると、カセットデッキのヘッドが汚れ、音質が劣化したり、音が出なくなることがあります。ヘッドに付着した糖分は、クリーニングカセットでクリーニングすることができません。



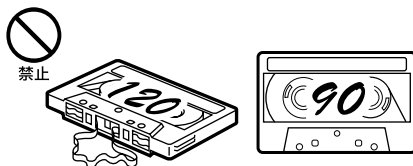
カセットについて

- テープ面に指を触れないでください。テープ面が汚れたカセットを使うと、音質の劣化の原因となります。
- 古いカセットや粗悪なカセットを使わないでください。音質の劣化や故障の原因となることがあります。

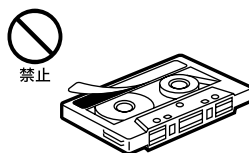
- 次の場所には絶対に置かないでください。
 - 直射日光が当たるところなど高温の場所（特に夏季）
 - 湿度の高いところ
- テープにたるみがあると、テープが機械に巻き込まれることがあります。必ず、鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



- 90分を超えるテープのご使用はおすすめできません。90分を超えるテープは、非常に薄くのびやすいので、車の振動や高温によってテープが機械に巻き込まれる場合があります。



- 変形したカセットテープやラベルのはがれかかったテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、新しいラベルに貼り直してください。



- 本機はパワーアンプ内蔵のため、長時間使用するとカセットが熱くなりますが、カセットの機能には影響ありません。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置	
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。イコライザー接続時にフェーダーがリア側になっている。 イコライザーなどを接続して使用するときは、本機のフェーダーはセンターに合わせてください。	
共通	電源OFF時に時計表示にならない。	<ul style="list-style-type: none">パワーセレクトスイッチが③になっている。 → パワーセレクトスイッチを④にしてからリセットボタンを押してください。(アクセサリポジションのある車のみ)リセットボタンを押したためデモモードに入った(パワーセレクトスイッチが④のときのみ) → SOURCEボタンで電源を入れてください。
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。動作電源コードまたはバッテリーを外した。電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている(20ページ)。
カセットが入らない	カセットを正しい向きに入れてください。	
テープ再生中にアンテナが上がる	<ul style="list-style-type: none">「ATA」と表示されている場合は、ATA機能が働き、テープ早送り、巻き戻し中に自動的にラジオを受信するためアンテナが上がります。	
雑音が多い	雑音が多いテープ、あるいは録音レベルの低いテープを再生している。故障ではありません。	
カセットプレーヤー	音がこもる	<ul style="list-style-type: none">ヘッドが汚れている。→ 別売りのソニークリーニングカセット(C-1KD)または市販の乾式クリーニングカセットを使ってクリーニングしてください。ドルビーNR録音されていないテープをドルビーB NRで再生している。→ ドルビーNRをOFFに切り換えてください。
	頭出しができない	<ul style="list-style-type: none">曲間のあきが短すぎる。→ 録音テープを作るとき、曲間を4秒以上あけてください。曲間に雑音が多く、曲間を検出できない。
	曲の途中で再生が始まる	<ul style="list-style-type: none">曲の途中に無音部分や低音のみの部分が1秒以上あり、曲間として検出された。再生している面と反対の面に大きな音が録音されている。無音部分の一部に雑音が多い。
	曲が収録されていない部分で再生が始まる	ドルビーNR録音されたテープをドルビーNR OFFで再生している。→ ドルビーNR Bに切り換えてください。

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
	受信できない、 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。→ パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 • 周波数を確認してください。
ラジオ	SEEK/AMSダイヤルを回しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「LOCAL-ON」の設定になっている。 →「LOCAL-OFF」にしてください(14ページ)。 • 電波が弱くて自動選局できない。→ SEEK/AMSつまみを押し続けて周波数を合わせてください。
	FMステレオ放送を受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「MONO-ON」の設定になっている。 →「MONO-OFF」の設定にしてください(14ページ)。
CD	CDが入らない。 CDをいれてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> • すでに別のCDが入っている。 • CDを誤った向きに入れようとしている。 レーベル面を上に入れてください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> • CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクが傷ついている。 • CD機器の取り付け角度が20°を越えている。
MD	音がとぶ。	<ul style="list-style-type: none"> • チェンジャー本体がしっかりしていない所に取り付けてある。 • MDではごくまれに録音機とMD機器との互換性により音かとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。

CD/MDのエラー表示

CD / MD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
<i>BLANK *</i>	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
<i>ERROR *</i>	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
<i>HI TEMP</i>	周囲の温度が50℃以上あり再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。
<i>NO DISC</i>	CD/MD機器にディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
<i>NG DISCS</i>	CD/MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
<i>NO MAG</i>	ディスクマガジンがチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
<i>NO READY</i>	MDチェンジャーMDX-40のフロントパネルが開いている。	フロントパネルを閉じる。(MDX-40接続時のみ)
<i>RESET</i>	何らかの原因でCD/MD機器が動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

* ディスクマガジン内でエラーを起こしたディスク番号が表示されます。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

カセットプレーヤー部

トラック方式	4トラック2チャンネル (ステレオ)
ワウフラッター	0.08% (WRMS) 以下
周波数特性	30 ~ 18,000Hz ±3dB
再生SN比 (JIS A)	

カセット	ドルビー B NR	ドルビー NR OFF
TYPE I	64dB	58dB
TYPE II、 III、IV	67dB	61dB

チューナー部

FM

受信周波数	76 ~ 90MHz (テレビ1 ~ 3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	9dBf
周波数特性	30 ~ 15,000Hz
SN比 50dB感度 (IHF)	18dBf
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	65dB (ステレオ) 68dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.7% (ステレオ) 0.4% (モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上 (1kHz)

AM

受信周波数	522 ~ 1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30 μV

アンプ部

適合インピーダンス	4 ~ 8
最大出力	40W × 4 (4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
トーンコントロール	低音 : ±8dB (100Hz) 高音 : ±8dB (10kHz)
出力端子	リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	ATTコントロール、 バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子
本体寸法	約178 × 50 × 181mm (幅 / 高さ / 奥行き)
取付寸法	約178 × 50 × 160mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品 (一式) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)
別売品	ロータリーコマンダー RM-X4S (1) CDチェンジャー CDX-828 (10枚) CDX-727 (10枚) MDチェンジャー MDX-65 (6枚) ソースセクター XA-C30 バスケーブル (RCAピンコード 付属) RC-61 (1m) RC-62 (2m) RCAピンコード RC-63 (1m) RC-64 (2m) RC-65 (5m) クリーニングカセット C-1KD

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ行

エラー表示 29
音量 10、17、19

か行

高音 19

さ行

CD/MD 22
シャッフル 24
ステレオ放送 14
SET UP
A.SCRL 20
BEEP 20
CLOCK 7
M.DSPL 20
RM 20

た、な行

低音 19、21
D-BASS 21
登録
自動登録 8
ラジオ局 8、15
道路交通情報 15
電源 11、17、25
時計 7

は行

バランス 19
ヒューズ 25
表示窓
CD/MD 22
テープ 11
ラジオ 14
フェーダー 19
ベストチューニングメモリー 8
ボタンの音 20

ま、や行


モノラルモード 14

ら、わ行

ラジオ 13
自動選局 14
登録 8、15
リセット 6
リピート 12、23
ロータリーコマンダー 16

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客さま相談センターへ

- ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
- 携帯電話・PHSでのご利用は…………… 03-5448-3311
- Fax …………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00